

## パターン 13 - ① (トゥ・ファイブ <II-V> 系パターンA)

Verse (テーマ) & Ending (終止)

♩ = 100

Chords: Dm7, G7, Cmaj7, Am7, Dm7, G7, Am, Am

Bridge (展開部)

Chords: Gm7, C7, F, Am, Gm7, C7, Fm7, B<sup>b</sup>7, Em7, E7

### メモ

- ① II - Vとは、4 度上のコードへ進む安定したコードチェンジパターン。Dm7→G7→Cmaj7、は 4 度進行。また Cmaj7の代理として Em7とすれば次の Am7も 4 度上 (もしくは Am7を Cmaj7の次にくる Fmaj7の代理と考えても可)。ジャズ、ポップスによくみられる。展開部も II - Vを多用
- ② ジャズミュージシャンは II - Vの進行によくアドリブを行う。進行としては気持ちよいが、メロディ (アドリブ) をどのようにコード音とずらすかが作家や演奏者の力量か?

⇒ “いっそセレナーデ (井上陽水)”、“枯葉” など